広告 企画協力 読売新聞社ビジネス局

vol.3 自動車販売編

現地で学ぼう！クルマのリサイクル

環境を守るリサイクル料金

人を乗せて走る乗用車やバス、ものを運ぶトラック、命を救う救急車や消防車。私たちの身の回りで活躍しているクルマたちは、使い終わった後も社会の役に立っているって知ってた？実は、そのほとんどがリサイクルされているんだよ！この「クルマのリサイクル」シリーズ（全7回）では、クルマが大切に使われて資源に戻るまでの過程を紹介しているよ。

3回目に訪れたのは、トラックやバスの「販売店」。実は、日本国内で輸送される荷物の9割以上はトラックが運んでいるんだ。※だから、トラックがなければお店に品物が並ばないし、病院に必要な薬が届かないし、お家も建てられない…。トラックはみんなの暮らしを支えてくれているんだ。また、販売店はクルマのリサイクルにとって大切な「リサイクル料金」にも深く関わる場所だよ。

※国土交通省「令和5年度交通政策白書」

自動車リサイクル博士

お訪ねした会社

社名：秋田いすゞ自動車株式会社
住所：秋田県秋田市寺内
https://www.akita-isuzu.co.jp/

クルマを使って働く人たちが毎日安心してスムーズにお仕事ができるよう、トラックやバスの販売や整備をしているお店だよ。使い終わったクルマの引き取りもしているんだ。

今回紹介するのはココ！

クルマを買うとき
リサイクル料金を払います

長く乗るために整備したり、
中古車として乗り継ぎます

リサイクルのしやすさを
意識したクルマを作ります

ポイント1 要望を聞いて「クルマを作る」

世の中にはいろいろなお仕事で使われるトラックやバスがあって、その見た目や必要な機能はそれぞれに違うんだ。例えば、❶木材を運ぶには荷台の長いトラックが必要だし、❷ガスや石油など危険なものは特別なタンクの付いたトラック（タンクローリー）で安全に運ばなくてはならない。また、❸高い木の枝を切ったり高い場所の清掃作業をしたりするための、荷台部分のバスケットに人が乗れるトラックもあるんだ。だから、いすゞ自動車ではお客さんの使い道に合わせて作られたトラックやバスを販売しているんだよ。

また、お客さんがクルマを買うときは「リサイクル料金」を支払う必要があるよ。これはトラックやバスだけでなく、人を乗せて走る乗用車の場合でも同じなんだ。

木材を運ぶ
❶ 木材運搬用トラック

ガスなどの危険なものを運ぶ
❷ タンクローリー

高い場所で作業ができる
❸ 高所作業用トラック

コラム リサイクル料金とは？

解体編と破砕編で見てきたように、使い終わったクルマをリサイクルする際は、シュレッダーダスト、エアバッグ、フロンガスを安全に処理しなければならないんだ。だから、クルマを購入する人は、これらを適切に処理するためのお金を支払うことになっているよ。これを「リサイクル料金」というんだ。

リサイクル券を見てみよう！

※画像はサンプルです。

［D券］料金通知書兼発行者控

リサイクル券番号	[redacted]
車台番号	[redacted]
車名	いすゞ

公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
2024年 8月20日発行

支払金額合計	¥13,160
シュレッダーダスト料金	¥8,460
エアバッグ類料金	¥2,180
フロン類料金	¥2,100
情報管理料金	¥130
資金管理料金	¥290

▲3つの項目に分けて書いてあるね！

教えて博士！ リサイクル料金 Q A

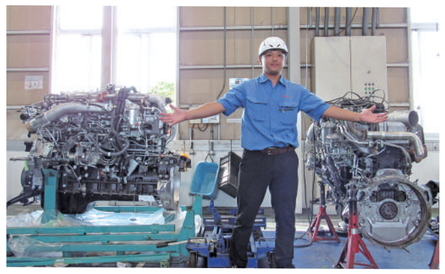
Q リサイクル料金はいくらなの？
A クルマの種類や大きさによって違いはあるけれど、6千～1万8千円くらいだよ。

Q クルマを乗り換える時、リサイクル料金はどうなるの？
A クルマを中古車として売る時、売る人にリサイクル料金相当額が戻ってくるよ。そして、その中古車を買う人がリサイクル料金相当額を支払うことになるんだ。

ポイント2 安全のために「整備・点検」

大切な人やものを乗せるクルマは、常に問題なく動作することがとても大切！だから、このお店にはトラックやバスの整備工場があって、法律で定められた定期点検の際や、乗る人が「おかしいな」と感じたときは、クルマを点検・修理してもらえるよ。

ポイント1の通り、トラックやバスは機能や見た目が一台ずつ違うから、点検の際に見るべきポイントや対応する修理の内容が本当に多いんだ。だから、整備する人には豊富な知識と経験が必要なんだって。



こんなに大きなエンジンの交換もできる！

ポイント3 販売店でも「エコ活動」

このお店では、環境を守るためのさまざまな取り組みを行っているよ。例えば、使い終わった❶タイヤや❷バッテリーを回収して、再利用しているんだ。タイヤのホイールは金属で出来ていて丈夫だから、ゴムの部分を交換すればまた使えることもあるんだって。

また、一部の営業所では、❸トラックやバスから出る廃オイルをヒーターの燃料として使っているよ。本来は捨ててしまうものを活用できるってステキだよね！

限りある資源を
大切に使っているんだね

今回のまとめ

次回は整備編！

トラックとバスの販売店では、お客さんが必要としている使い道に合わせて作られたクルマを販売していて、お店の中にある整備工場で点検・修理もしてくれるんだ。また、クルマを買う人は、クルマを使い終わった後にシュレッダーダスト、エアバッグ、フロンガスを適切に処理するための費用として、リサイクル料金を支払っているんだね。

博士からの挑戦状!! クルマのリサイクルクイズ

コラムを読み返せば答えが分かるはず！

クルマを買う人がシュレッダーダスト、エアバッグ、フロンガスの適切な処理のために支払うのは？

〇〇〇〇〇料金

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

詳しくはこちらから
クルマのリサイクル 検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS